

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :

製品名称 : 天然カルナバ蠟ワックススプレー

製品番号 (SDS NO) : Carnauba_Spray-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 自動車塗装強化用天然カルナバロウ

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者 : 株式会社 本荘興産

住所 : 〒711-0934 岡山県倉敷市児島塩生 2764

電話番号 : 086-475-0950 FAX : 086-475-0952

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
炭化水素(C11-C13イソアルカン) (芳香族 <2%)	-	< 5	-
ノニオン界面活性剤	68515-73-1	< 1	5-3641

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に記載されていません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後

も洗浄を続けること。

目の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

意識のある場合はコップ1 - 2杯の水を飲ませる。

直ちに医師に連絡すること。

診察を受ける際には、本SDSを見せること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

(吸入もしくは飲み込んだ場合の症状)

吸入：長時間のばく露で上気道の刺激のおそれ

飲み込み：粘膜刺激のおそれ

(皮膚に付着もしくは目に入った場合の症状)

皮膚：アレルギー性皮膚反応のおそれ

眼：眼刺激のおそれ

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

霧状水、泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

使ってはならない消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

特有の危険有害性

製品は不燃性である。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

安全に対処できるならば、容器を火災区域外に移動する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防災服を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

汚染個所を水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

技術的対策

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

水以外の化学物質と混合しないこと。

皮膚感作または呼吸器感作の既往歴のある人は、製品を取り扱う作業に従事させないこと。

安全取扱注意事項

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避

- 強酸化性物質との接触を避けること。

衛生対策

- 眼、皮膚、衣類につけないこと。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 - 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
 - 乾燥した場所に保管すること。
 - 上限保存温度 : 35℃
 - 下限保存温度 : 5℃
 - 保管場所の床には洗浄可能な耐アルカリ性の材質を使用すること。
- (避けるべき保管条件)
- 乳幼児の手の届かないところに保管すること。
 - 熱、着火源（裸火、火花等）から離して保管すること。

安全な容器包装材料

- 他の容器に移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

ACGIH 許容濃度データなし

ばく露防止

設備対策

- 適切な換気のある場所で取扱う。
- 洗眼設備を設ける。
- 手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

- 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

- 保護手袋を着用する。推奨材質：非浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

- 側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 液体 (乳濁液)

色 : 乳白色

臭い : 特有臭 (溶剤)

臭いの閾値データなし

pH : 6 - 8

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

蒸発速度データなし

融点/凝固点データなし

分解温度データなし

自己促進分解温度/SADTデータなし

可燃性 (ガス、液体及び固体) : 不燃性

引火点データなし

自然発火点データなし

臨界温度データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

蒸気圧データなし

蒸気密度データなし

VOCデータなし

相対ガス密度 (空気=1) データなし

20℃での蒸気/空気-混合物の相対密度 (空気=1) データなし

密度及び/又は相対密度 : 0.940 - 0.980 g/cm³

動粘度データなし

動粘性率 : 250 mm²/s

溶解度 :

水に対する溶解度 : 不溶

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

粒子特性データなし

その他のデータ

屈折率 : Brix 9.3±5 %

10. 安定性及び反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

適切な換気のないところで加温しないこと。

長時間日光にさらさないこと。

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

局所効果

皮膚腐食性/刺激性データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性データなし

残留性・分解性データなし

生体蓄積性データなし

土壌中の移動性データなし

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

容器は、洗浄後再使用又はリサイクルできる。

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類に該当しない

IMDG Code（国際海上危険物規程）に該当しない

IATA 航空危険物規則書に該当しない

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質（該当/非該当）：非該当

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質（Y類）

ノニオン界面活性剤

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法に該当しない。
化学物質管理促進 (PRTR) 法に該当しない。
消防法に該当しない。
化審法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals,
(6th ed., 2015), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures
(table3-1 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 : 2019

JIS Z 7252 : 2019

2018 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によ
って改

訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を対象としたものであって、特殊な取扱
いの場

合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成29年度) で
す。